

# 平成21年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成21年6月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,264億円余
2. 前年同月比	-14.0% (店舗数調整後/15か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-12.5%(88.3%) : 非店頭-23.8%(11.7%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 28店 (平成21年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	972,052㎡ (前年同月比:-1.7%)
6. 総従業員数	18,717人 (前年同月比:-3.5%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -8.9%、11-1月 -9.2%、12-2月 -10.5%、 1-3月 -11.4%、2-4月 -12.2%、3-5月 -12.9%

[参考] 平成20年5月の売上高増減率は-2.3% (店舗数調整後)

### 【5月売上の特徴】

- (1) 東京地区の5月は、毎週末の天候不順と新型インフルエンザの影響で、各店共に入店客数・売上に大きな影響を受けた。
- (2) 購入単価・購入点数の減少傾向が続いており、例えば母の日ギフトについてもセール品で済ませるケースが見られた。
- (3) 下取りセールを実施した店舗では、いずれも対象商材が二桁増を記録した。発行したクーポン券の利用率も高く、購買を誘引する仕掛けとして効果が確認されている。
- (4) 不振が続くファッション分野の中でも、レイングッズには人気が集まっており、レインコートやレインシューズに動きが見られる。
- (5) 手持ち品の再利用を志向する消費者の増加を受けて、婦人アクセサリーの分野などではリフォームコーナーの売上が大きく伸びている。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.2日 (前年同月比-0.8日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)  
①増加した: 2店、②変化なし: 1店、③減少した: 17店、④不明: 3店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)  
①増加した: 1店、②変化なし: 3店、③減少した: 8店、④不明: 11店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)  
①増加する: 1店、②変化なし: 7店、③減少する: 11店、④不明: 4店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2009年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>126,425,225</b>	<b>100.0</b>	<b>-14.0</b>
紳士服・洋品	11,162,664	8.8	-18.8
婦人服・洋品	27,661,617	21.9	-17.0
子供服・洋品	2,732,562	2.2	-10.6
その他衣料品	2,972,973	2.4	-22.8
<b>衣 料 品</b>	<b>44,529,816</b>	<b>35.2</b>	<b>-17.5</b>
身のまわり品	18,006,495	14.2	-15.8
化粧品	6,982,289	5.5	-10.2
美術・宝飾・貴金属	6,555,204	5.2	-20.1
その他雑貨	6,848,644	5.4	-23.2
<b>雑 貨</b>	<b>20,386,137</b>	<b>16.1</b>	<b>-18.1</b>
家 具	2,037,824	1.6	-17.4
家 電	793,364	0.6	-8.1
その他家庭用品	4,807,848	3.8	-20.0
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,639,036</b>	<b>6.0</b>	<b>-18.2</b>
生 鮮 食 品	4,592,936	3.6	-0.9
菓 子	7,415,447	5.9	-2.9
惣 菜	6,138,628	4.9	-10.4
その他食料品	8,560,630	6.8	-11.7
<b>食 料 品</b>	<b>26,707,641</b>	<b>21.1</b>	<b>-7.3</b>
食 堂 喫 茶	3,561,819	2.8	-11.6
サ ー ビ ス	2,072,086	1.6	9.2
<b>そ の 他</b>	<b>3,522,195</b>	<b>2.8</b>	<b>36.7</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	2,881,006 千円	-19.4
従 業 員 数	18,717 人	-3.5
店 舗 面 積	972,052 m <sup>2</sup>	-1.7
営 業 日 数	30.2 日	前年 31.0 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。家庭用品は先月より改善しており、美術・宝飾・貴金属、家具、家電、生鮮食品も同様の動きとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	-14.0	—	15か月連続マイナス
紳士服・洋品	-18.8	-1.8	14か月連続マイナス
婦人服・洋品	-17.0	-3.9	10か月連続マイナス
子供服・洋品	-10.6	-0.2	9か月連続マイナス
その他衣料品	-22.8	-0.6	13か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	-17.5	-6.4	10か月連続マイナス
<b>身のまわり品</b>	-15.8	-2.3	14か月連続マイナス
化粧品	-10.2	-0.5	6か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-20.1	-1.1	9か月連続マイナス*
その他雑貨	-23.2	-1.4	12か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-18.1	-3.1	13か月連続マイナス
家具	-17.4	-0.3	14か月連続マイナス
家電	-8.1	0.0	17か月連続マイナス
その他家庭用品	-20.0	-0.8	12か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	-18.2	-1.2	12か月連続マイナス
生鮮食品	-0.9	0.0	9か月連続マイナス*
菓子	-2.9	-0.2	4か月連続マイナス*
惣菜	-10.4	-0.5	14か月連続マイナス*
その他食料品	-11.7	-0.8	4か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	-7.3	-1.4	8か月連続マイナス
食堂喫茶	-11.6	-0.3	7か月連続マイナス
サービス	9.2	0.1	7か月連続プラス
<b>その他</b>	36.7	0.6	9か月連続プラス
<b>商品券</b>	-19.4	-0.5	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>